

除雪協力隊活動サポート事業

取り組みに至る背景・事業の目的

桑名川区は長野県有数の豪雪地帯であり、特に冬期間の除排雪は高齢者世帯にとって、資金面や労働面でかなりの負担となっている。

このことから、冬期間における人命の安全を主目的に、「桑名川区除雪協力隊」が設置され、現在 44 名が隊員登録しており、隊員の安全性確保や活動意識高揚のため、活動環境の整備を行う。

事業内容

- 冬期間(12月～3月)における区域内の雪処理で困っている高齢者世帯等の除排雪作業を安全に行った。飯山市においては、区で除雪協力隊が組織されているのは桑名川区のみであり、同様な助け合いの取組を新潟県主催の体験発表で広めることが出来た。
- 国土交通省、マスコミ等からの報道取材で注目されており、隊員の安全確保面からも装備の充実を図ることができた。
- ヘルメット・防寒具については、責任ある管理を行い、区民からも頼れる組織となり、12月～2月20日除雪実績時間は、174.5時間となった。



【桑名川区除雪協力隊の活動の様子】

事業効果

- 冬期間における区民の安心・安全が図られた。
- 除雪協力隊員の安全確保が図られた。
- 地域が元気になり、コミュニティの醸成が図られた。
- 新潟県より除雪協力隊の体験発表依頼があり、実施。その時に元気づくり支援金でヘルメット、防寒着等支援されたことを会場で披露、地元新聞にも取り上げられ反響があった。
- 平成25年1月テレビ信州報道取材があり、協力隊のこと、名入れの防寒着で作業風景など報道され区民以外にも関心・認知度が拡大した。その他NHKなども事前取材を受けた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 除雪協力隊の対象範囲の拡大のため、設置要綱見直しを実施。少子高齢化・限界集落社会に向けて区民が安心・安全、住んでいて良かったと思う地区にするべく隊員の新規加入促進、区民の雪災害防止に向けた協力(見守り等)などを推進する。
- 報道機関などの取材を通して除雪協力隊の認知度を高め、他自治体・区域にも発信することで区民・隊員の意識活性化も図りたい。(新潟県上越市の一区より問い合わせ事例もあり)
- 除雪協力隊の制服(統一した名入れ防寒着)、名入れヘルメット等で作業をすることで、隊員の連帯意識向上を図り自らが先行行動(依頼から自発へ)するように活動を盛り上げたい。

【選定のポイント】

当初に目的である地域内の徐排雪支援活動の充実にとどまらず、国土交通省の調査や新潟県での講演、テレビ取材など、高齢化が進む豪雪地帯における共助のモデル活動として、県内外の注目を集めた。

団体名	桑名川区(飯山市)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0269-69-2502	事業費	692,400円
メールアドレス	kanon@iiyama.catv.ne.jp	支援金額	690,000円

